

昭和3年10月23日の

鍛冶町だんじり (鍛冶町)

写真提供・河野 勝忠さん (鍛冶町)



昭和3年の徳守神社祭礼の時、昭和天皇御即位記念として、鍛冶町の宗道神社参道で出動前に撮られた記念写真と思われます。当時、徳守神社の祭礼は10月23日に行われていました。写真中央、法被姿の人々の足元に木製の棒が見えますが、これは馬車の引き棒です。現在のだんじりは動力付きの台車に乗せて引いていますが、当時は馬車でだんじりを引いていました。

この写真に写っているたくさんの子どもは町内会と町内の鉄工所に勤めていた職人の子どもらしく当時の鍛冶町の繁栄ぶりがよく分かります。

津山まつりのだんじりの多くは県重要有形民俗文化財に指定されています。鍛冶町のだんじりもその一つ。錨龍臺と呼ばれ、明治4年に製作されました。工匠は児島郡胸上村(現在の玉野市)出身の井上末平・幸治父子と、東北条郡上高倉村(現在の津山市上高倉)の高山千賀平。井上・高山両氏は市内のだんじり彫刻の多くを手掛けています。近年、だんじりと神輿の曳き手や担ぎ手が少なくなり、錨龍臺は平成5年以降出動できていませんでしたが、今年17年ぶりに復活すること。久しぶりに柱巻龍などの見事な彫刻を目にすることができそうです。



▲だんじりの龍彫刻(錨龍臺の柱巻龍)

このコーナーは歴史的
文化資産のデジタルアーカイブ(古写真のデジタル化)事業の成果の中から紹介しています

問い合わせ先
津山郷土博物館
☎22-4567

表紙について

津山納涼ごんごまつりIN吉井川
8月7、8日 吉井川河岸緑地公園ほか

ごんごの仮装をしたり、顔に色とりどりのペイントを施した踊り手たちが鶴山通りを練り歩いた「ごんごおどり」。一生懸命な子どもたちが可愛かったのはもちろん、夢中で踊る大人もとてもすてきでしたよ。

つぶやき

編集室



津山子ども広場のキャンプには社会人となった卒業生の皆さんも里帰りし、飛び入り参加するそうです。きもだめしで子どもたちを驚かし、キャンプファイヤーなどで子どもたちと一緒に楽しむ永遠の小学生たち。とってもうらやましいですね。(＆)

きらめく津山人・前原さんは、昭和17年4月に13歳で当時の通信省航空局管轄の官立愛媛地方航空機乗員養成所に入所し、15歳で海軍呉鎮守府所属の飛行練習生として軍籍に入り終戦を迎えたとのこと。8月号に引き続き「平和」について考えさせられた取材でした。(修)

今年は残暑厳しく、まだまだ暑い日が続くそうです。でも、朝夕の風に秋の訪れを感じるようにはなりました。目の前をスーッと横切るトンボ。稲穂の垂れた黄金色の田んぼ。イワシがたくさん泳ぐ空…。過ごしやすい気候に早くなるといいですね。(和)

編集・発行 (毎月10日発行)

津山市総合企画部秘書広報室(市役所3階) 〒708-8501 岡山県津山市山北520番地
☎0868-23-2111(代) ☎0868-32-2152 Eメール kouhou@city.tsuyama.okayama.jp

☆広報つやまはホームページで閲覧できます
<http://www.city.tsuyama.okayama.jp/>



広報つやまは、環境保護のため再生紙と大豆油インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル(雑誌)にご協力ください

